

# 長寿科学総合研究及び認知症対策総合研究 研究成果発表会（研究者向け）プログラム

〔厚生労働科学研究費研究成果等普及啓発事業〕

会 期 平成27年 1月30日（金） 10:00～16:20  
会 場 KKRホテル東京 11階 孔雀の間  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-4-1  
交通 ■ 東京メトロ東西線「竹橋駅」3b出口直結  
■ 東京メトロ千代田線「大手町駅」C2出口、  
都営地下鉄「神保町駅」A9出口より それぞれ徒歩5分  
主 催 公益財団法人 長寿科学振興財団  
T E L : 0 5 6 2 - 8 4 - 5 4 1 1

研究者向け発表会（演者：平成26年度で研究課題終了予定研究代表者）

## ■ 開会あいさつ

10:00～10:10

厚生労働省 老健局 総務課 課長 高橋 俊之  
公益財団法人 長寿科学振興財団 理事長 祖父江 逸郎

## ■ セッション I 認知症対策総合研究

〔座長〕 国立長寿医療研究センター 総長 鳥羽 研二

1. 10:10～10:30

わが国における認知症の経済的影響に関する研究

〔演者〕 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室 助教 佐渡 充洋

2. 10:30～10:50

認知症一次予防のための多角的データ利用による縦断研究

〔演者〕 筑波大学医学医療系 講師 山岸 良匡

3. 10:50～11:10

病・診・介護の連携による認知症ケアネットワーク構築に関する研究事業

〔演者〕 杏林大学医学部高齢医学 教授 神崎 恒一

4. 11:10～11:30

認知症のための縦断型連携パスを用いた医療と介護の連携に関する研究

〔演者〕 熊本大学大学院生命科学研究部 教授 池田 学

5. 11:30～11:50

東日本大震災被災者における認知機能と日常生活動作の前向きコホート研究

〔演者〕 東北大学加齢医学研究所 准教授 古川 勝敏

《 昼休憩 11:50～12:45 》

## ■ セッションⅡ 長寿科学総合研究

〔座長〕 杏林大学医学部高齢医学 教授 神崎恒一

6. 12:45 ~ 13:05

東日本大震災における高齢者特有の医学的影響とその予防法に関する研究

〔演者〕 東北大学大学院医学系研究科 准教授 坂田泰彦

7. 13:05 ~ 13:25

介護予防事業の進捗管理と効果評価のためのデータ整備に関する研究

〔演者〕 東北大学大学院医学系研究科 教授 辻一郎

8. 13:25 ~ 13:45

在宅高齢者の生活環境、地域環境および介護予防プログラム・介護サービスと高齢者の健康に関する疫学研究

〔演者〕 東北大学大学院歯学研究科 准教授 相田潤

9. 13:45 ~ 14:05

未受診・未回収対策を含めた介護予防標準化に向けたテラーメイド型介護予防法の開発

〔演者〕 京都大学大学院医学研究科 教授 荒井秀典

10. 14:05 ~ 14:25

介護予防プログラム開発に関する研究

〔演者〕 国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター  
生活機能賦活研究部 部長 島田裕之

《 休憩 14:25 ~ 14:40 》

## ■ セッションⅢ 長寿科学総合研究

〔座長〕 京都大学大学院医学研究科 教授 荒井秀典

11. 14:40 ~ 15:00

高齢者在宅医療に関する多職種協働の阻害要因を克服する教育システムの構築に関する調査研究

〔演者〕 国立長寿医療研究センター 総長 鳥羽研二

12. 15:00 ~ 15:20

地域・在宅高齢者における摂食嚥下・栄養障害に関する研究—特にそれが及ぼす在宅療養の非継続性と地域における介入・システム構築に向けて

〔演者〕 名古屋大学大学院医学系研究科 教授 葛谷雅文

13. 15:20 ~ 15:40

頸部装着型機器による嚥下機能評価と食事介助支援装置の実用化

〔演者〕 筑波大学医学医療系 教授 松村明

14. 15:40 ~ 16:00

虚弱・サルコペニアモデルを踏まえた高齢者食生活支援の枠組みと包括的介護予防プログラムの考案および検証を目的とした調査研究

〔演者〕 東京大学高齢社会総合研究機構 准教授 飯島勝矢

15. 16:00 ~ 16:20

サルコペニアの予防を目的とした総合的研究

〔演者〕 筑波大学人間系 准教授 山田実